

児童朝会 講話 ■令和2年11月30日

No.10 「漢字」②

おはようございます。いよいよ明日から12月ですね。だいぶ寒くなってきましたが、かぜやコロナ対策として、教室の換気はしっかりできていますか？

校長先生の声、届いていますか？

さて、今回は漢検の「今年の漢字」を募集しました。応募するために、応募箱の中身をみましたが、たくさんの方が応募してくれました。ありがとうございます。応募期間はもう少しありますので、まだ書いていないよという人は書きにきてください。

先週ははじめてできた漢字は占いというお話でしたが、今週も漢字のお話の続きをします。さて、もうすぐ令和2年も終わり令和3年になりますね。令和ってどんな漢字かわかりますか？

担任の先生、恐れ入りますが黒板に漢字シートをはってください。あれ、まちがえて「平成」の漢字シートを張られたようですね。でも大丈夫、一瞬でこの平成が令和になりますよ。よくみていてくださいね。3、2、1 ハイ！令和になりました！よくわからなかったですか？では今度は一瞬で平成にもどしましょう。3、2、1 ハイ平成に戻りました。今度はゆっくり令和に戻してみてください。不思議ですね。これは「アンビグラム」といって、野村一晟さんという画家が逆さにしても読める文字があったらおもしろいなあと言ってお作りになされました。他にも努力と勝利、才能と挑戦など楽しいアンビグラムの漢字をたくさんつくられています。

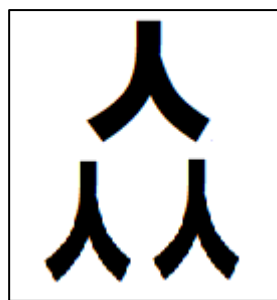
漢字って、みなさんは覚えるの大変とか、練習するのめんどくさいなどの印象があるかもしれませんが、こんな楽しいものでもあるのですよ。もう一つ漢字の楽しいお話をしましょう。

前は「今年の漢字」のお話をしましたが、これに似たもので「今年の創作漢字」というものもあります。これは何かというと、世の中になく漢字を自分で考えてみて、これはおもしろい！というものに賞品をだすイベントなのです。

え！漢字って自分で考えてつくっていいの？と思われるかもしれませんが、大昔の誰かもそうやってつくられたわけですから、全然いいのですよ。ただし、それが多くの人に広まるのに、何百年とかかるのですが。

では、校長先生も一つ漢字をつくってみました。どんな読み方を、意味かを考えてみてください。

担任の先生、人という漢字を黒板に書いてください。これは1年生で習う漢字です。これをもとに考えてみましたよ。では、それを3つ集めて書いてください。見たこともないような漢字ができましたね。さあ、いったいこの漢字何と読めばいいのでしょうか？少しまわりのひとと聞き合ってみてください。



色々な読み方が考えられますね。校長先生は、まさにコロナの今年をイメージして「さんみつ」と読みたいと思ってつくってみました。どうでしょうか？

それでは今週の宿題です。今週は、この「今年の創作漢字」を募集します。皆さんが考えた漢字を校長室前のボードに書きにきてください。こんな漢字あったらおもしろいなあ、素敵だなあという素敵な漢字をお待ちしております。